

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	スーパー（財務 担当）	来客数の動き	・既存店が前年同月比100.8%と回復してきている。 もう少し寒くなると布団、衣料品などが売れる。
		ゴルフ場（経営 者）	単価の動き	・客単価が上昇している。
	変わらない	百貨店（担当 者）	販売量の動き	・苦戦の10月から一転している。好調の要因は気温の 低下による面が大きく、主力の婦人衣料がけん引材料 となっていることから衣料品計にて前年同月比4%増 である。また住居、食品の好調も継続しており、結果 的に全館において2%増となっている。
		スーパー（経営 者）	お客様の様子	・競合店の出店が相次ぎ、客の買い回り傾向が強まっ ているので単価も含めて厳しい状況にある。
		コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・観光客は増加しているが、買物にお金は使わない。
		コンビニ（エリ ア担当）	単価の動き	・客単価は伸びていない。本土では、同じ商品内容で もプラスアルファの付加価値がついた商品が動いてい るが、沖縄では動きが鈍く、質より価格最優先となっ ている。
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・施設利用者は3か月前の8月は前年同月比で 105.4%、今月は11月24日現在で103.4%である。来園 者は一般団体、修学旅行等の団体旅行が中心である。
		その他のサービ ス[レンタ カー]（営業担 当）	来客数の動き	・11月は、レンタカー利用客は年間のうち一番需要の 落ち込む時期であるが、前年同月比で120%と好調に 推移している。
	やや悪く なっている	家電量販店（従 業員）	単価の動き	・景気が上向き調子かと思われていたが、今月の客の 財布のひもは固く閉ざされ、買上商品単価が、2～3 割ほど落ち込んでいる。懸念していた、燃料費の高騰 が原因となりうる。
		その他専門店 [書籍]（店 長）	単価の動き	・客単価が例年に比べて落ちている。以前は多少値が 張ってもその分商品に対するの安心感からか動きは あったが、最近ではある程度質は良くて安い商品があ るので、それで満足しているものと考えられる。
		通信会社（店 長）	販売量の動き	・来客数の変動はないが、買い控えが多くなってお り、実際の販売に結び付く確率が低くなっている。
悪く なっている	コンビニ（経営 者）	競争相手の様子	・商圏内で全国チェーンの大手スーパーが閉店したの で、そのパイの奪い合いのための地元有力スーパーの 出店、リニューアル等で商圏の再編成が進んでいる。 おかげで売上は前年比10%のマイナスとなっている。	
	住宅販売会社 （経営者）	競争相手の様子	・度々、競争相手が破綻する。公共工事の減少、地方 財政の予算のひっ迫でますます景気は悪くなってい る。	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・契約件数がやや増加している。
		不動産業（従業 員）	受注量や販売量 の動き	・立ち退きに伴う引越し者が多数いる。
	変わらない	通信業（営業担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・回線受注量、受注価格ともに低水準をキープしたま ま変わらず推移している。
		不動産業（支店 長）	受注量や販売量 の動き	・問い合わせ件数、成約件数が横ばいである。
	やや悪く なっている	輸送業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・売上は前年並みで推移しているが、軽油・ガソリン といった燃料は前年に比べ1リッターで20円以上は値 上げしており、転嫁することもできず収益を圧迫して いる状況が続いている。アイドリングストップなど自 助努力はしているものの限度があり、公的機関で真剣 に軽油税の一部を還元するなど検討しなければ業界全 体が経営危機に陥り、冬を越せない事業者が多々出 てくる恐れがある。
悪く なっている	-	-	-	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・現在稼働中の派遣先からの追加派遣依頼や新規依頼が多くなっている。また新規依頼は規模の大きくない企業からも多く、人材の需要が増えてきている。
		学校[専門学校] (就職担当)	周辺企業の様子	・県外企業の採用担当より「県外では人材不足であるため、地方である沖縄まで採用活動をしなくてはならない」という意見が幾らかあった。特にIT系はバブル期とほぼ同じような状況だとのことである。
		学校[大学] (就職担当)	求人数の動き	・新卒の求人が依然として好調である。また、建設業の倒産が相次ぎ、失業率は悪化しているものの、観光業界の収入は増加している。年末商戦の消費性向も高まる。
	変わらない	求人情報誌製作 会社(営業担 当)	採用者数の動き	・求人数が横ばいで、あまり変動が感じられない。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・7月と比較すると、新規求人数は6.7%増の3,992人である。一般求人は2.8%増で3,080人(構成比77.2%)である。パート求人は2.9%増の912人(構成比22.8%)である。10月の新規求人は建設、製造、情報通信、運輸、卸売・小売、不動産で増加し、一方で金融・保険、飲食、宿泊、サービスで減少している。前年同月比で見ると医療・福祉、運輸、教育・学習支援での増加が著しい。有効求人倍率は0.01ポイント上昇し0.50倍である。就職件数は8.8%増加の1,373人である。
	やや悪く なっている	-	-	-
悪く なっている	-	-	-	